



実践団体情報 (1 団体あたり 1 回だけ記入する内容です)

必要に応じてセル(表の枠)の高さを調整していただいて構いません

記入日	西暦 2022 年 1 月 17 日 (2021 年度のチャレンジプラン)
実践団体名	千葉県立銚子高等学校
代表者名	菅谷 健一
プラン全体のタイトル 内容を端的に示し、中身を見たくなるタイトルをつけてください。計画時のタイトルと同じである必要はありません	県銚ぼうさい探究!
電話番号	0 4 7 9 - 2 2 - 6 9 0 6
メールアドレス	t.ymzk61@chiba-c.ed.jp
実践団体の説明 団体の来歴や特徴などを書いてください	千葉県北東部の全日制普通科高等学校。 1 学年の学校設定教科「防災の学び」、2 学年の「総合的な探究の時間」を活用し、防災をはじめとする探究型学習に取り組んでいる。 東日本大震災では、学校所在地の銚子市をはじめ、生徒の居住地も津波や液状化の被害を受けた。その後も、日本各地において、地震をはじめとする災害が発生し、防災教育の充実が重要であるとの認識から、学校設定教科「防災の学び」がスタートした。 以来、年々実践内容を発展させながら、生徒が主体的に取り組める防災教育の充実を目指してきた。探究型学習を中心とし、地元の大学やジオパーク推進室、銚子市役所との連携を密にし、本校生徒の防災に関する学びを深めることや、その内容を、小中学生や住民の方々へ発信することにより、地域貢献も大切にしている。 これまでの、地域に根ざした防災教育や探究活動の実践が評価され、2020 年度、学校安全表彰文部科学大臣表彰をいただいた。
所属メンバー 団体のメンバーについてお名前やご所属、役割などを差し支えない範囲で書いてください	(代表) 校長：菅谷 健一 (副代表) 教頭：林 潤 (担当) 教諭：山崎 猛浩



活動地域 〇〇地方・〇〇校区など活動地域の範囲に合わせて記載してください。活動範囲が小さい場合には都道府県名など場所が特定できる情報を入れてください	千葉県銚子市
活動開始時期・結成時期	2014年
過去の活動履歴・受賞歴 これまで行ってきた活動や受賞歴（チャレンジプラン以外も含む）をご記入ください	2020年度 学校安全表彰 文部科学大臣表彰

プラン全体の概要	本団体は、千葉県北東部の全日制普通科高等学校である。銚子市は少子化と高齢化が進んでおり、災害発生時に自助・共助の観点から高校生が果たせる役割は大きい。また、日本各地で毎年のように災害が発生しており、卒業後の将来、災害に直面したり、復旧・復興を支援したりする可能性がある。そのため、防災教育の充実を図り、事前の防災対策や復興等について考え、理解を深めておくことが重要である。また、地域によって自然災害の種類や被害規模の可能性に差があり、時代とともに社会も変化していくことから、防災について、絶えず学び続ける姿勢を身に付けることが課題である。 学校所在地である千葉県銚子市は、3方を海と利根川に囲まれており、長い歴史の中で、幾度も津波をはじめとする水害を受け、また、戦災として空襲を受けている。その度に復興があり、街の様子も変化してきた。その変化の中で、防災対策の工夫が盛り込まれ、災害のリスクと共存し、恵まれた環境資源（水産業など）を生かして営みを続けてきた先人たちの知恵に触れることができる。 また、千葉科学大学や銚子ジオパーク推進協議会、銚子市役所危機管理室との連携により、地元の教育資源を活用しながら、防災について学びを深めていくことが可能である。 本校生徒が、これまでの災害や復興の歴史について学び、未来探究型学習に取り組むことで、地域社会へ貢献できる人材の育成を目的としている。
----------	---



プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4 月	・ 年間計画の調整 各実践への時間割当	・ 講義の準備 (メディア・心理学・歴史) ・ 積層図作製準備	・ 生徒へ年間計画の説明 ・ 講義 (メディア) ・ 講義 (心理学)
5 月	・ ジオツアー日程調整 (市ジオパーク推進室)	・ 積層図作製準備	・ 講義 (歴史) ・ 積層図作製
6 月		・ 探究型学習Ⅰ (個人) 準備	・ 積層図作製
7 月	・ 防災訓練調整 (校内総務部)	・ 探究型学習Ⅱ (班) 準備	・ 積層図から学級ごとに検討
8 月	・ ジオツアー打合せ		・ 課題探究型学習Ⅰ (個人)
9 月	・ ジオツアー保険契約	・ ジオツアー班・コース決め	・ 課題探究型学習Ⅱ (班)
10 月		・ ジオツアーしおり作成	・ 課題探究型学習Ⅱ (班) ・ ジオツアー
11 月	・ 県銚アカデミア 講師依頼	・ 県銚アカデミア要項作成	・ 課題探究型学習Ⅱ (班) ・ 津波想定防災訓練
12 月	・ 講演会講師依頼 (千葉科学大学)	・ 県銚アカデミア準備 (役割分担・進行原稿等)	・ 課題探究型学習Ⅱ (班)
1 月		・ 避難所運営ゲーム準備 ・ 講演会準備	・ 県銚アカデミア ・ 避難所運営ゲーム
2 月			・ 講演会 (復興の成果と課題)
3 月			・ まとめ

プラン全体の反省点・課題・感想	ジオツアー等で実際に見たり、感じたりと体験的に学ぶ中で、防災につながる発見に喜びを感じていた。 コロナ禍において、学びの充実度を向上させるためにオンライン等の手法を一層活用していくことが必要だと感じた。
今後の活動予定	小中学生や地域住民へのプレゼンテーション、避難場所設置体験などを、オンライン等を活用して実施し、本校生徒の学びの充実及び発信力の向上を図っていく。